

上側のセルに法人名称、下側のセルに代表者の氏名を記入してください。
※法人でない個人の方は、上側のセルに氏名を記入してください。

東京都和歌山県

申請者が複数存在する場合は、申請者のうち一名を記入し押印してください。この場合は、赤点線のセルを「申請者（他の申請者は別紙申請者一覧のとおり）」をプルダウンで選択してください。

なお、「事務手続の委任」を行う場合は、代理人の住所・氏名を入力します。ここで入力した代理人が申請者も兼ねるときは「申請者兼別紙申請者一覧の者の代理人」を選択してください。また、代理人を申請者以外の者とするときは別紙申請者一覧の者の代理人」を選択してください。

申請者

住

所 東京都千代田区〇〇町一丁目1番

氏

名 株式会社 東京〇〇〇
代表取締役 〇〇〇〇

代表者印

（法人にあつては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

他ガス削減量算定報告書

削減度における、その他ガス削減量算定ガイドラインの量の決定を申請します。

「東京都」は記入しないでください。
(市区町村名から記入してください)

事業所の名称	〇〇工場		
事業所の所在地	八王子市〇〇町一丁目1番1号		
指定番号	〇〇〇〇	モニタリング計画 (承認番号)	環地総第 〇〇 号
基準年度	2002 年度 ~ 2004 年度		
算定対象年度	2024 年度		
削減活動の概要	廃棄物の焼却、加工工程のドライエッチングの利用。		
連絡先	会社名	株式会社 東京〇〇〇	
	郵便番号	100-0001	
	住所	東京都千代田区〇町一丁目×番地1号	
	所属名	総務部環境対策課	
	担当者名	大江戸 花子	
	電話番号	03-〇〇〇〇-△△△△	
	FAX番号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	メールアドレス	hanako.oedo@xxxxxx.co.jp	
備考			

東京都が通知した「その他ガス削減量モニタリング計画承認通知書(D号様式)」の承認番号を記入してください
(変更を行っている場合は最新の通知書の番号を記入してください)。

※受付欄

※この欄には、何も記入しないでください。

その他ガス削減量算定報告書の申請者一覧

(住所及び氏名の欄は、法人にあっては、法人名、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地を記入する。)

その他ガス削減量算定報告書の申請対象となる事業所

名称 : ○○工場

所在地 : 八王子市○○町一丁目1番1号

住所 都 区

氏名 ④

住所 都 区

氏名 ④

住所 都 区

氏名 ④

住所 都 区

氏名 ④

住所 都 区

氏名 ④

住所 都 区

氏名 ④

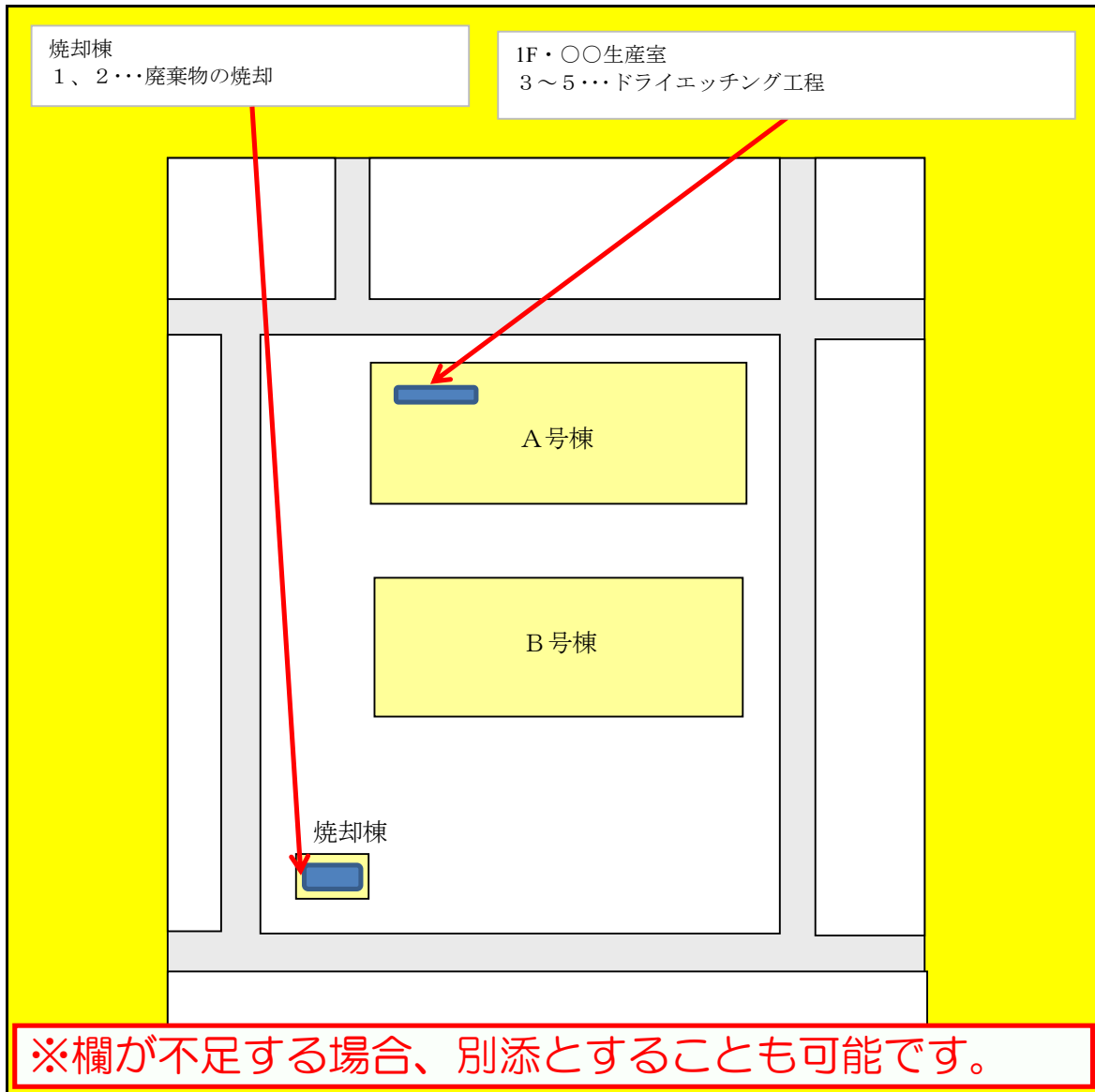
住所 都 区

氏名 ④

事業所名	指定番号
〇〇工場	〇〇〇〇

1 算定事業所の詳細

(1) 事業所範囲



(2) 削減対象となる事業活動及び排出活動の状況

事業活動	排出活動	番号	排出場所
半導体の製造	半導体生成時の廃棄物の焼却	1, 2	事業所内焼却炉
半導体の製造	半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるHFC、PFCの使用	3～5	A号棟(1F〇〇生産室)

このページは、排出量に影響を与えない軽微な変更を除き、有効化検証を受けたモニタリング計画書と同一の内容を記入してください(排出量に影響を与える変更についてはモニタリング計画の変更申請を行う必要があります。)。排出量に影響を与えない軽微な変更がある場合は、変更事項の説明を別資料として添付してください。

事業所名	指定番号
〇〇工場	〇〇〇〇

(3) 算定体制

算定責任者	氏名	大江戸 太郎
	部署・役職	株式会社 東京〇〇〇 総務部環境課 課長
算定担当者	氏名	大江戸 花子
	部署・役職	株式会社 東京〇〇〇 総務部環境課
	電話番号	03-□□□□-△△△△
	e-mailアドレス	ooedo.hanako@△△△.co.jp
算定体制		

事業所名	指定番号
〇〇工場	〇〇〇〇

このページは、排出量に影響を与えない軽微な変更を除き、有効化検証を受けたモニタリング計画書と同一の内容を記入してください(排出量に影響を与える変更についてはモニタリング計画の変更申請を行う必要があります。)。排出量に影響を与えない軽微な変更がある場合は、変更事項の説明を別資料として添付してください。

②	半導体製造時のドライエッチングに用いるHFC-23の除害装置の設置	HFC-23が含まれる排気の燃焼除害により大気中へのHFC-23の排出量が減少する。
③	半導体プロセスに用いる新ガス(NF ₃)の使用に伴う除害装置の設置	従来用いていたPFCには除害装置を設置していなかったが、使用するガスの種類の変更に伴い除害装置を設置した。このため、新ガスが発生するものの全体的な排出量は減少する。

(2) 算定対象排出活動

<適用対象期間(算定対象年度)>

番号	排出活動	温室効果ガスの種類	削減活動による排出量の増減	増減の原因となる削減活動番号	増減の理由
1	廃棄物(廃油)の焼却(事業所内)	CO2	無	③	
3	半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるHFCの使用	HFC	無	①	
5	半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFCの使用	PFC	有	②	NF3への変更により現在は存在しない

③ ここで入力した番号は、モニタリング計画書で割り当てた番号に合わせてください。この記入例では、モニタリング計画書の記入例の内容に合わせているため、番号が順番になっておりません。また、ここで入力した排出活動排出ごとに、様式「その5」を作成してください。

※施設・設備と削減活動、排出活動の実施位置の関係及び排出のプロセスがわかるように図等を用いて記載してください。なお、欄が不足する場合、別添とすることも可能です。

※最新の情報を記載してください。

事業所名	指定番号
〇〇工場	〇〇〇〇

3 モニタリング方法
 <算定対象年度>
 (注) 排出活動ごとに本用紙

排出活動「番号3」の記入例のみを記しています。
 ※ここでは提示していない「番号1、5」の排出活動も、それぞれ同様に作成してください。

番号	排出活動	ガス種
3	半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるHFCの使用	HFC

「その4」で入力した番号ごとに、複数作成してください。

(1) 算定方法

番号	適用範囲	算定手法	算定式	有効桁数	把握するデータ項目			
					a	b	c	d
3-1	半導体製造時のドライエッチング	排出係数による計算	$a \times b - c$	2	使用量(tHFC)	排出量原単位(tHFC/tHFC)	回収・適正処理量(tHFC)	

<上記の算定方法の採用理由>

排出活動の種別から、その他ガス削減量算定ガイドラインに示す方法を採用した。
 このページは、排出量に影響を与えない軽微な変更を除き、有効化検証を受けたモニタリング計画書と同一の内容を記入してください(排出量に影響を与える変更についてはモニタリング計画の変更申請を行う必要があります)。排出量に影響を与えない軽微な変更がある場合は、変更事項の説明を別資料として添付してください。

(2) データの把握方法

データ項目	測定・設定方法 (計器、証票、出典、サンプリング方法、測定頻度、測定点等)	データ記録・管理方法	有効桁数
3-1-a	使用量=購入量+期首在庫量-期末在庫量として購入量は購入伝票で、在庫量は在庫管理記録により把握する。	購入伝票は経理部門で保管し、購入量データを抽出して環境部門で記録。また在庫管理記録は購買部門で管理し、そのデータを環境部門で記録。	2
3-1-b	温対法に基づく「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」の係数を採用	算定時においては、公表している最新値を確認する。	2
3-1-c	HFCの回収・処理業者から提供を受けた回収記録から把握する。	回収記録を環境部門で保管し、電子データとして記録	2

<上記のデータ把握方法の採用理由>

使用量についてはラインへの直接投入量は連続測定していないため、購入量と在庫量から求めることとした。購入量は取引において会計データと連動しているため信頼性が高いと判断している。排出係数は、環境省・経済産業省で公表している排出係数の最新値を採用した。また回収・適正処理量は回収・破壊業者から回収記録の報告を受けておりこれに基づき取引を行っているため回収量として信頼性があると判断した。

